こころ豊かな暮らしづくり・まちづくり

広報おおき

No.548
2026
令和８年
11月号



令和７年度決算、事業報告 ２～７ページ

アクアスと町の将来を考える vol.3 ８～９ページ

写真：堀 DAY ミュージックで演奏する大木中学校吹奏楽部の皆さん（19 ページに関連記事）

令和7年度決算報告

一般会計

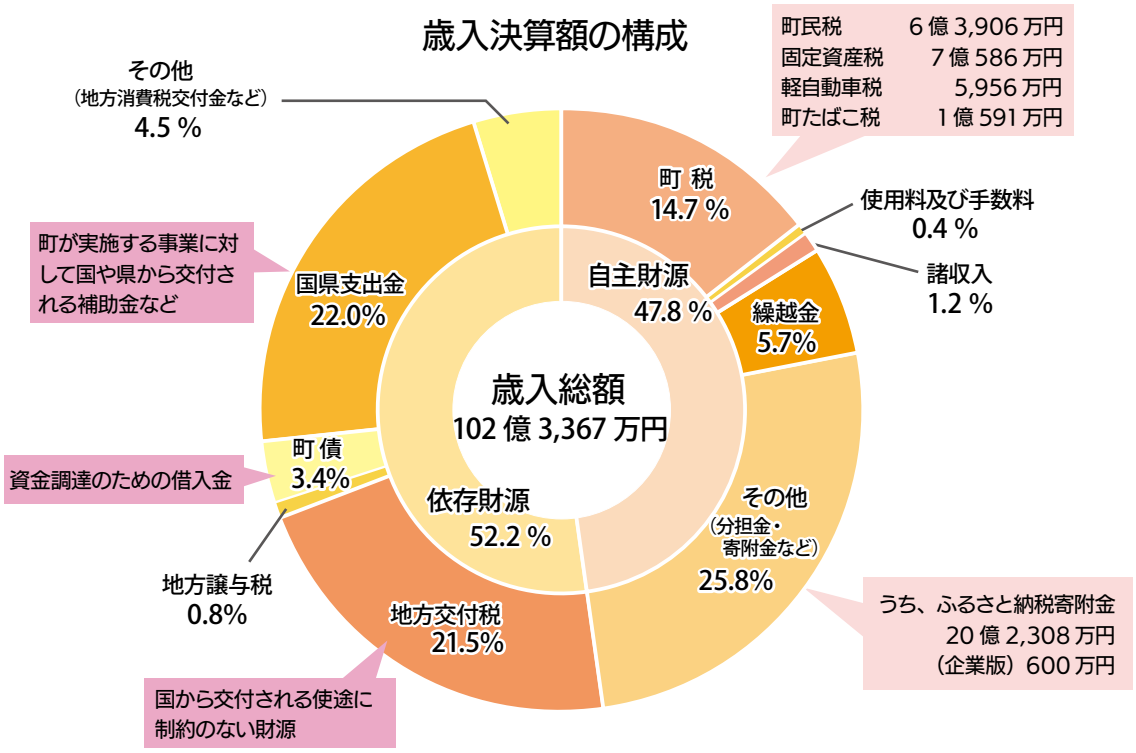
歳入総額 102億3,367万円　前年比＋20.7%

歳出総額 96億8,833万円　前年比＋22.7%

歳入歳出差引額　5億4,534万円
翌年度への繰越財源　1億2,077万円
実質収支　4億2,458万円　前年比　－24.8%

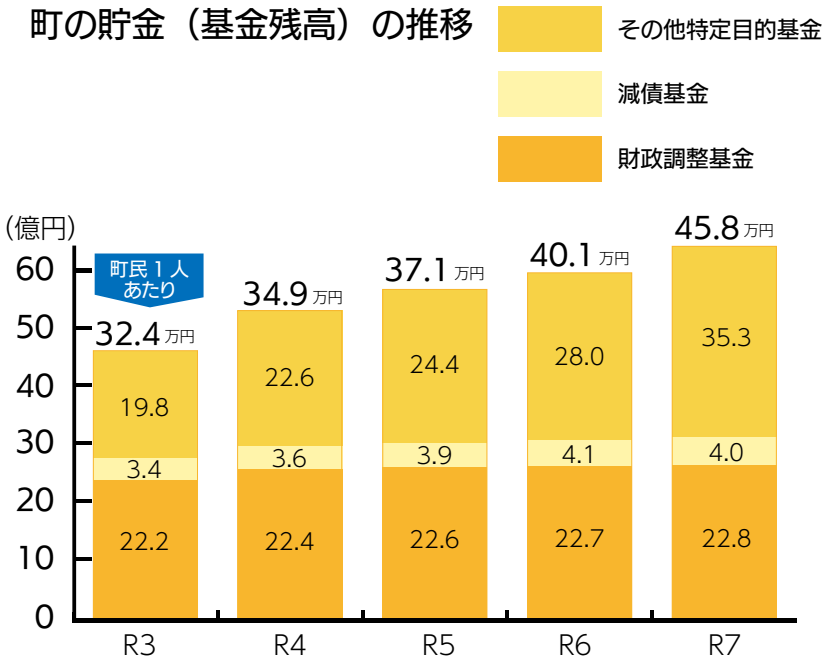
令和7年度の一般会計決算は、歳入歳出ともに増加。歳出増加の主な要因は、大溝小学校校舎屋上防水・外壁等改修工事、保育所整備交付金などの施設整備費やふるさと納税関連費用の増加です。歳入は、地方交付税の増額やふるさと納税寄附金の増加が主な要因です。

歳入決算額の構成



町民の皆さんが負担した町税（1人あたり換算） 11万1,503円 令和8年1月1日現在　人口　13,546人	
町民税	47,178円
固定資産税	52,109円
軽自動車税	4,397円
町たばこ税	7,819円

町の貯金（基金残高）の推移



令和7年度末の基金残高は62億858万円で、前年比13・3％の増加。地方交付税の追加交付や、ふるさと納税寄附金の伸びなどにより、近年の基金残高は増加傾向にあります。

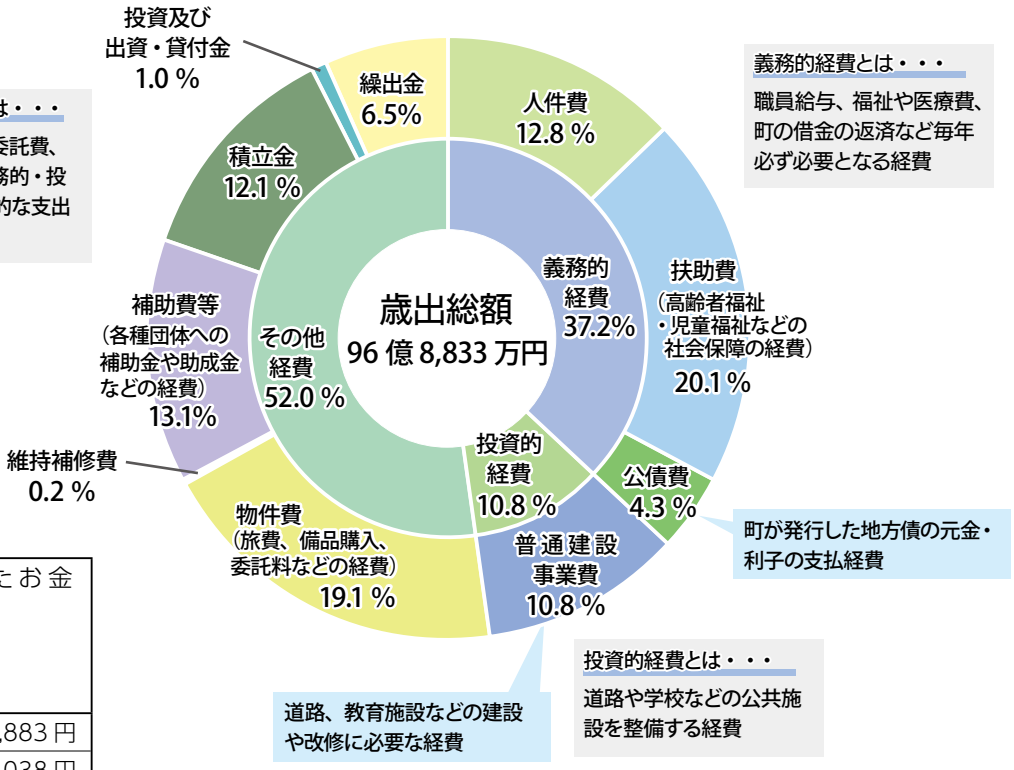
特別会計決算

※1　国民健康保険特別会計の歳入不足額は、翌年度予算からの繰り上げ充用で赤字補てんをしています。

※2　水道事業（資本的事業）の収入不足額は、積立金などで補っています。

会計名			決算額	前年度比
国民健康保険　※1		歳入	17億377万円	－1.5%
		歳出	17億3,243万円	－5.1%
		差引	－2,865万円	－70.1%
後期高齢者医療		歳入	2億6,635万円	+10.5%
		歳出	2億4,984万円	+9.4%
		差引	1,651万円	+29.1%
水道事業	収益的事業	収入	2億6,055万円	+1.2%
		支出	2億2,195万円	－5.8%
	資本的事業 ※2	収入	4,678万円	+152.3%
		支出	8,854万円	+17.3%

性質別歳出決算額の構成



町民の皆さんに使われたお金

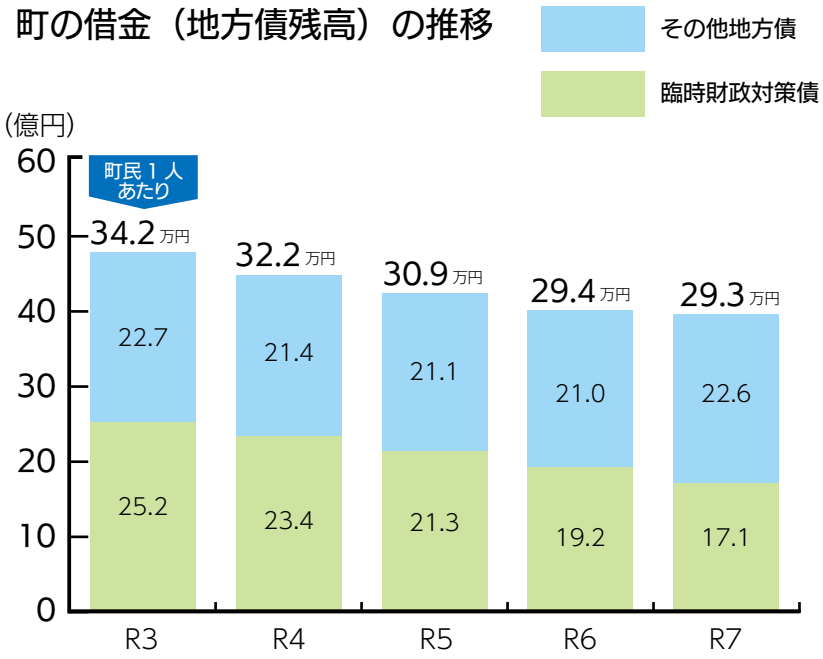
（1人あたり換算）

71万5,216円

令和8年1月1日 現在
人口　13,546人

人件費	91,883円
扶助費	144,038円
公債費	30,708円
普通建設事業費	77,552円
災害復旧事業費	0円
物件費	136,286円
維持補修費	1,228円
補助費等	93,653円
積立金	86,642円
投資及び出資・貸付金	7,018円
繰出金	46,208円

町の借金（地方債残高）の推移



令和7年度末の地方債残高は39億7161万円で、前年比1・2％の減少。新規発行額よりも償還額が大きいため、残高は減少傾向にあります。しかし、今後は老朽化した施設の更新のため、基金の取り崩し額や地方債の新規発行額の増加が見込まれます。

令和7年度まちづくり町民アンケート集計結果（抜粋）

自治総合計画でめざす町の姿の達成具合や、町民の皆さんの意見を伺うため、令和9年度まで毎年アンケート調査を行っています。令和7年度の集計結果を抜粋してお知らせします。

問 企画財政課 ☎0944-32-1036

基本理念

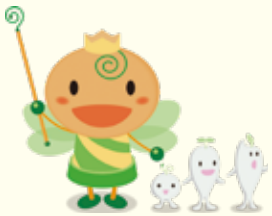
住み続けたいと思える 持続可能な循環のまち おおき

町の将来像　地域と行政が協働でめざす町の将来像

めざす町の姿　地域と行政が具体的にめざす方向や活動の状態
質問内容に該当すると答えた割合が「めざす町の姿」の達成具合を評価する数値です。

まちづくり町民アンケートで毎年評価

事業　「めざす町の姿」に関する課題解決のため、政策・施策に基づいた事業を実施しています。



町の将来像

未来につなぐ環境先進のまち

めざす町の姿

気候変動の緩和策・適応策を推進し、次世代への影響を残さないまちであること

評価指標

省エネ製品の利用を進め、再生可能エネルギー利用設備を導入している町民の割合

（R6）53.2% ⤴ （R7）55.7%

R5 年度末（中間）目標　54.5%
R9 年度末（最終）目標　58.3%

令和 7 年度に実施した主な事業

ゼロカーボンシティ推進事業

（事業費：3,562 万 6 千円）

国の重点対策加速化交付金を活用し、太陽光発電設備、蓄電池設備を設置する個人に対して補助金を交付しました。また、公共施設（町内小中学校、循環センター、テニスコートなど）の LED 化を行い、ゼロカーボンシティの推進を図りました。



テニスコートの夜間照明 LED 化

町の将来像

人と経済の好循環で活力ある産業が育つまち

めざす町の姿

地域資源を活用した地域内経済循環ができていること

評価指標（アンケート結果）

町内の個人商店、飲食店、サービス店をよく利用していると答える町民の割合

（R6）48.7% ⤴ （R7）53.4%

R5 年度末（中間）目標　54.2%
R9 年度末（最終）目標　58.1%

令和 7 年度に実施した主な事業

地域振興事業

（事業費：1,995 万 5 千円）

物価高騰に対応する地方創生臨時交付金を活用し、プレミアム商品券のプレミア分に対しての補助を行いました。前年度よりも予算を増額し、町民の生活支援と町内消費の拡大を図りました。



町の将来像

子育てしやすく子どもが元気に輝くまち

めざす町の姿

みんなが支え合い、安心して子育てができること

評価指標（アンケート結果）

子育てについて相談できる場所や機会を知っている町民の割合 / 働きながら子育てができる環境が整っていると感じる町民の割合

（R6）44.1% ⤴ （R7）47.4%

R5 年度末（中間）目標　52.4%
R9 年度末（最終）目標　56.5%

令和 7 年度に実施した主な事業

こども家庭センター事業

（事業費：1,343 万 3 千円）

こども家庭センターでは、妊娠期から子育て期までの相談や発達支援、産後ケアなど保護者に寄り添いながら切れ目のない支援を実施しました。心理的支援アプリ（全国初）や医療相談アプリ（県内初）を導入し、夜間や休日の支援の充実に取り組みました。



町の将来像

堀と自然が調和した暮らしの基盤が整ったまち

めざす町の姿

社会基盤がバランスよく整い、快適に暮らしていること

評価指標（アンケート結果）

生活しやすい環境（道路、水道、公園、交通、情報通信設備）が整っていると感じる町民の割合

（R6）44.6% ⤴ （R7）45.0%

R5 年度末（中間）目標　52.2%
R9 年度末（最終）目標　56.2%

令和７年度に実施した主な事業

おおき乗合タクシー事業

（事業費：261 万２千円）

令和７年８月から、普段の買い物や通院などの移動手段として、定額で町内を移動できる事前予約制の乗合タクシー「大木のりあい号」の試験運行を実施しました。



町民の皆さんからのご意見

Q 高齢者の移動（交通）手段を充実してほしい

A 本町では町内間の新たな交通移動手段として、令和７年８月から予約制乗合タクシー「大木のりあい号」の試験運行を開始し、令和８年８月から本格運行しています。事前予約制で、ご自宅などの前から乗車でき、目的地や方向が同じ人同士が乗り合わせて移動する新しい公共交通機関です。買い物や通院、駅までの利用など、町内の移動にご活用ください。今後も利用者にとって使いやすいものとなるよう、随時制度の見直しを検討していきます。

なお、町内の移動のみが対象となっており、ご利用には事前登録が必要です。来庁されて企画財政課で手続きいただくか、町の公式ＬＩＮＥからの申し込みもできます。

詳しくは町のホームページをご確認ください。

大木のりあい号
詳細

Q 道路・水路・安全施設などを整備修繕してほしい

A 町内の道路、水路や安全施設などに対して、多数要望をいただいていますが、現場の確認を行い、優先度を決定し計画的に整備を進めています。また多額の工事費用が見込まれる場合は、国・県の補助事業を活用し、町の負担が少なく整備できるよう進めています。

なお、要望は、まず区長さんへ相談していただき、要望書の提出をお願いします。区長さんから要望書が提出された場合、現場状況の調査を行い整備計画に反映しています。



町の最上位計画である「大木町自治総合計画」の政策施策、活動事業の取組状況や成果の検証・評価を行うために設置されている自治総合計画審議会において、令和７年度の取り組みの審議が行われました。

その結果をまとめた「検証評価報告」が９月 17 日に久良木会長から広松町長へ提出されました。町では、この報告を今後の施策の改善や次期計画に生かしていきます。

事業評価・町民アンケートの結果はこちら▶

町の将来像

高い経営意識のもと
健全な行政経営が行われるまち

めざす町の姿

生産性高い行政経営と健全な財政運営が行われること

評価指標（アンケート結果）

ムダを省き効率的な行政運営がおこなわれていると感じる町民の割合

（R6）29.0% ⤴ （R7）32.6%

R5 年度末（中間）目標　31.2%
R9 年度末（最終）目標　37.0%

令和 7 年度に実施した主な事業

人材資源活用の提案事業

（事業費：1,071 万 7 千円）

全額が特別交付税措置される地域おこし協力隊制度により、ルリーロ福岡の選手、スタッフが地域イベントを盛り上げました。また、事業者訪問などで把握した地域課題を町と共有し、解決策の検討実施につなげたり、高校生や大学生との関係構築や町内企業への選手雇用なども実現しました。



大溝小学校校舎屋上防水・外壁等改修工事

（事業費：2 億 4,855 万円）

大木町ふるさと納税基金などを活用し、子どもたちの安心・安全な教育環境を確保するために、大溝小学校校舎屋上防水・外壁等改修工事を実施しました。



やすらぎ苑営繕事業

（事業費：1 億 3,074 万 9 千円）

火葬業務の安定的な運営を行うため、やすらぎ苑の長寿命化改修工事として、火葬炉以外の設備・内外装の改修工事を行いました。



自治体 DX 推進事業

（事業費：1,070 万円）

電子窓口システム（ゆびナビプラス）を令和 7 年 11 月に本稼働し、来庁手続きの際の書かない窓口を整備しました。また、ヤマトシステム開発株式会社から地域活性化起業人を迎え、自治体 DX 推進のための課題整理を行いました。





特集 vol.3

アクアスと町の将来を考える

問健康課　☎0944-32-1280

現施設を継続して利用する案3の調査結果と今後の進め方

町は、温浴機能を引き継ぎながら、将来にわたって持続可能な運営ができる「健康づくりの拠点」の整備を目指しています。広報おおき8月号では、健康福祉センターを中心とする「全世代型健康増進拠点」の整備に向けた3つの案をお知らせしました。

今回は、議会からの要請や住民説明会でのご意見を受けて行った、「現在のアクアスを改修して使い続ける案（案3）」の再調査結果と、それを踏まえた町の考えをお伝えします。

温浴施設の整備方法	
案1	現在のアクアスの位置に、小規模な温浴施設を新たに整備する
案2	アクアス西側の町有地に、小規模な温浴施設を新たに整備する
案3	現在のアクアスを改修し、使い続ける

▶案3「現在のアクアスを改修し、使い続ける案」の再調査でわかったこと

専門業者による再調査では、改修によって建物の長寿命化を図ることは、技術的には可能とされました。

一方で、多額の改修費や維持保全費、工事に伴う長期休館が見込まれ、改修後も故障や再修繕のリスクが残ることが示されました。

▶案3に関する調査で示された主な費用と期間

項目	概算費用・期間
今後36年間（耐用年数まで）使用する場合の維持保全費	約33億9,000万円
早急に実施すべき改修に関する工事費	約14億5,000万円
改修工事に伴う休館期間	約1年間
地下機械室の地上移設費用	約8,500万円
地下機械室の地上移設に伴う休館期間	約半年間

※金額・期間は再調査による概算です。
※地下機械室の地上移設を行う場合の費用は、改修に係る工事費に含まれていません。
※改修工事と地下機械室の地上移設を同時に行う場合は、休館期間が延びる可能性があります。

改修後も残る施設の課題

- 特殊な形状（円形）の建物であることから、防水処理や点検・補修が難しく、漏水への継続的な対応が必要
- 温泉やプールにより、高温多湿の環境であり、鉄骨やコンクリートの劣化が進みやすく、老朽化対策が必要
- 地下機械室には設備が密集し、湿気や漏水に加え、機器の更新や作業スペースの確保に課題があります。

再調査結果を踏まえた町の考え

施設の今後を考える際に、改修ができるかどうかに加え、その後も安全に利用できるか、費用を負担し続けられるか、安定した運営ができるかを見極める必要があります。

町としては、今回の調査で示された費用、長期休館による利用者への影響、改修後も続く維持管理の課題を総合的に考えると、令和5年度の判断（検討委員会からの答申）と変わらず、案3を選択する合理的な理由は少ないと考えています。



なぜ今後の方向性を決める必要があるのか

現在の施設をそのまま使い続ける間にも、設備の老朽化は進みます。判断を先送りすることにも、費用や利用への影響が伴います。

老朽化は現在も進んでいます

ボイラーや給排水設備、電気設備などには更新時期を過ぎたものがあり、今後も劣化が進んでいきます。

突然の休館が長引くおそれがあります

設備の故障によって予告なく休館し、修理の内容によっては再開までに長い期間を要する可能性があります。

修繕を繰り返す負担が生じます

故障するたびに修繕を重ねると、その都度費用がかかり、利用者の皆さんにもご不便をおかけします。

そのためにも、将来の方向性を定め、計画的に対応していく必要があります。

今後は各案の具体的な比較・検討を進めます

今後は、案1と案2について、健康福祉棟とのつながりや使いやすさ、施設の規模・機能、整備費用、工事の進め方、工事期間中の利用への影響、維持管理費などを比較するとともに、案3の再調査結果も含め、整備費用だけでなく、その後の運営や将来負担なども合わせて総合的な視点から検討します。

なお、議会との協議では、調査結果や将来負担、懸念点に対する認識を共有できるよう、専門業者を交えた説明や質疑を重ね、各案に対する評価や意見の整理をお願いしています。

引き続き、町民の皆さんからいただいたご意見を大切にしながら、温浴機能を将来へ引き継ぎ、幅広い世代の健康づくりを支えられるよう、持続可能な施設のあり方を検討していきます。

検討の内容や進み具合は、広報紙やホームページを通じて随時お知らせしていきます。詳しくは町ホームページ「全世代型健康増進拠点構築」をご覧ください。

詳細はこちら

大木町をキレイな町へ！！

秋のクリーンおおき大作戦 ～中学生タイアップ事業～

9月 26 日に大木中学校と地域のボランティア団体「ポイ捨てごみをなくし隊」が協力し、清掃活動を行いました。当日はあいにくの空模様となりましたが、中学生や保護者、地域の皆さんに加え、ルリーロ福岡の地域おこし協力隊の 2 人も参加し、総勢 179 人で町内の道路や歩道などのごみ拾いをしました。

活動は早朝7時から約1時間行われ、たばこの吸い殻、空き缶、びん、ペットボトルなど約 50kg ものごみが回収されました。

きれいな町をこれからも守っていくためには、ごみを「拾う」ことはもちろんですが、まずは一人ひとりがごみを「捨てない」という意識が何より大切です。日々の心がけで、大木町をもっと住みよい町にしていきましょう。

大木町清掃ボランティア
「ポイ捨てごみをなくし隊」
中村会長



この事業がはじまって 16 年が経ちました。これからも環境美化のため、みんなで頑張っていきましょう。また、ごみをポイ捨てしないようにしましょう!













1年4組 久米創喜（くめそうき）さん

部活の仲間たちやボランティアの方々と一緒に、町内の道路のごみ拾いをしました。実際に拾ってみて、こんなにたくさんのごみが道端に落ちていることが驚きでした。中には、家庭のごみまで捨てられていました。特にタバコの吸い殻やペットボトルが多かったです。

これからも少しでも大木町がきれいになっていくように、道端などにごみが落ちていたら、拾っていきたいです。



2年4組 合嶋紗和（ごうじまさわ）さん

この活動に参加してみて、普段何気なく歩いていた道にも意外とたくさんのごみが落ちていることに気づきました。

最初は、ごみを拾うことが大変そうと思っていましたが、みんなで声を掛け合いながら、とても楽しく取り組むことができました。

この活動を通して、大木町をさらにきれいにしていくためには、一人ひとりの「ごみをなくそう!」という意識や、その気持ちを行動に変えることが大切だと分かりました。

最終的には、ごみがない町になったらいいなと思うので、ごみを捨てないようにする活動にも取り組んでいきたいです。



3年4組 坂口瑛大（さかぐちえいた）さん

早朝からあいにくの雨の中での清掃活動でしたが、たくさんの生徒や保護者の方々が参加し、学校周辺や地域のごみ拾いを行うことができました。

実際にごみ拾いをしてみると、普段はあまり気にしていなかった場所にも、たくさんのごみが落ちていることに気づきました。みんなで協力してごみを拾っていくと、少しずつきれいになっていくのが分かり、達成感もありました。

今回の活動をきっかけに、これからも自分たちの学校や地域をきれいにすることを意識していきたいです。



この日も
クリーンアップ
専用袋を
使いました

環境課からのお知らせ

問環境課　☎0944-32-1120

お知らせ ① 11 月は環境保全強化月間です。

11 月は不法投棄やごみのポイ捨て、野焼きなどの犯罪を防止する環境保全強化月間です。

家庭や事業所などから出たごみを屋外で焼却する行為は「野焼き」と呼ばれ、法律で禁止されています。

稲わら麦わらなど、やむを得ない場合の野焼きは、一部例外が認められていますが、周辺住民から苦情が寄せられた場合は指導の対象となります。

また、不法投棄やポイ捨ても立派な犯罪です。一人ひとりがごみ出しのルールを守り、適切な処理を心がけましょう。野焼きや不法投棄の現場を発見したら、ご連絡ください。

生活ごみの野焼き、不法投棄に関する問い合わせ
環境課　☎0944-32-1120
筑後警察署　☎0942-52-0110

農業関係の野焼きの問い合わせ
産業振興課　☎0944-32-1063

お知らせ ② リチウムイオン電池の取り扱いに気を付けましょう



リチウムイオン電池が燃やすごみやプラスチックの指定袋に混入してしまうと、リチウムイオン電池が発火し、重大な事故につながります。ごみ収集業者や焼却施設、資源化施設の稼働停止やそこで働く人の命にも関わるため、燃やすごみ・プラスチックの指定袋には絶対入れず、適正に処理してください。

リチウムイオン電池の処理方法

発火リスクを減らすため、リチウムイオン電池は電池残量のない状態で廃棄してください。



●電池の取り外しができる

リチウムイオン電池のみ取り外し、「電池類」として地区分別収集か環境プラザで出してください。

●電池の取り外しができない

「小型家電」として出してください。小型家電の処理方法はホームページでご確認ください。

リチウムイオン電池処理方法

膨張や変形したリチウムイオン電池は環境プラザへ

膨張や変形したしたリチウムイオン電池は地区の分別収集には出さず、環境プラザへ持ち込み、職員へ直接渡してください。

お知らせ ③ クリーンアップ専用ごみ袋でまちをキレイに！



「クリーンアップ専用ごみ袋」は、各地区の一斉清掃や地域でのごみ拾いに使用できます。個人でも、清掃ボランティア「ポイ捨てごみをなくし隊」への登録で専用ごみ袋が無料で使用できます。登録は右記 QR コードから「ごみゼロアプリ」をダウンロードして行うか、環境課へお電話ください。

※クリーンアップ専用ごみ袋は、家庭ごみには使用できません。

Google play

App Store